

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	農業基盤整備促進事業			事業番号	20-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	田中 丈司	農業振興課 農林整備担当	樋口 明	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	1	地域の産業がさかんなまちをつくる	
		施策	20	地域とつながる都市農業・林業づくりの推進	
予算事業名	農業基盤整備促進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成24年度	～	終了年度	平成29年度
関連法令等	神奈川県土地改良事業等補助金交付要綱				
国・県の計画等	土地改良長期計画		計画期間	平成24年度～平成28年度	
関連個別計画	農業基盤整備促進事業計画		計画期間	平成26年度～平成28年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	下小稲葉地区の水田地帯においては、用排水路の老朽化により営農に支障を来しており、また地区両側の河川(歌川、笠張川)の水位が高いことから降雨時に湛水が多発しており、地元農家から改善を強く求められている。				
目的 (何をどうしたいのか)	用排水路の新設及び更新を行い、また河川流入部に逆流防止の水門を設けることにより当地域の営農条件を改善し、生産性の向上を図る。				
主な対象 (誰・何を対象に)	当地域の耕作者				
事業内容 (手段、手法など)	・農業経営と農村環境の向上を図るため、下小稲葉地区の農業基盤施設整備計画を策定し、地区の課題である水路の整備を優先して進めていきます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	計画・測量・設計	—	測量		
	水路整備工事	新規工事実施	—		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	水路の整備延長	測量	水路 L=350m	測量	



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国庫補助金を活用し事業進捗が図れるよう、県と調整しながら本事業に取り組むものとする。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 豊建設株式会社
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	計画・測量・設計	—	
	水路整備工事	新規工事実施	
実施した取組の内容	水路整備工事を実施		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	水路の整備延長	測量	水路L=143m
			29年度

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		11,597		千円				千円	
内 訳	国県支出金 ①	8,118		千円				千円	
	地方債 ②	3,400		千円				千円	
	その他特財 ③	0		千円				千円	
	一般財源 (a)-①-②-③	79		千円			0	千円	
国県支出金の内容		農業基盤整備促進事業補助金 補助率 国50% 県20% 市30%							
コ ス ト	その他特財の内容	受益者負担		○ 有 ● 無		前回の改定時期			
		その他							
人 件 費	正規職員	0.19	人	1,644	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.19	人	1,644	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				13,241	千円				千円
単 位 当 た り コ ス ト	対象数	定義		当地域の耕作者		単位		単位	
		対象数		151	戸				
		総事業費 ／対象数		87,689	円			円	

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	地元要望による付帯工として、土留工を整備したことによる増工の為、計画整備延長を実施することが出来なかった。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	事業規模や地元からの整備要望により、一律に比較できない事業である。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	排水機能が損なわれている土水路をU字溝で整備することにより、効率的な営農が図られる。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	補助金を有効に活用し、農業基盤整備を進めることが出来た。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	財源となる国庫補助金が本事業の推進に多大な影響を及ぼすため、補助金の確保が重要となる。
次年度取組方針		国庫補助金を活用した事業進捗を滞りなく行えるよう、県及び地元関係者との調整を行いながら取り組みを進める。		
所管部長による総評		下小稲葉地区の農業経営の安定化と農村環境の向上を図るため、本事業の推進は不可欠であり、水路整備においては喫緊の課題であり、今後も農業の基盤整備を進める必要がある。		